



●勤務医に関する話題や投稿などで構成するコーナーです。勤務医生活の雑感、あるいは意見をこの欄にお寄せください。
●投稿要領…700字程度、名古屋市昭和区妙見町19-2、愛知県保険医協会「勤務医コーナー」係まで。薄謝進呈致します。

格差社会について

名東区 山田 一美

格差社会は今に始まったことではないが、近年特に注目されている。新自由主義の潮流に乗って世の中全体に格差が拡大しているように思う。非正規雇用や一人親問題が新型コロナによ

り一層深刻になっている。格差を裏付けるデータはいくつもあるが、昨年の世界の個人資産は四百十八兆ドルで百万ドルを超える収入の富裕層五千六百万人が資産全体の四六%を握ると

いうデータや米国の主要企業五百社の最高経営責任者の平均報酬は平均的な従業員の収入の二百九十九倍にのぼるというデータも最近目にした。全く想像もできないような世界である。

日本の貧困家庭ではコロナ禍で年収二百万円以下が約六〇%、貯金十万円以下が約五〇%というニュースも数日前に放映された。そうした家庭では親も子も食費代に困っている。NPO

法人や地域のボランティアの支援が続けられて命をつないでいる現状もよく報道されている。非正規で働いていて職を失った人がネットカフェや路上生活になり一日一食か水だけという現実も目にした。

こうした日々の報道の陰でショックだったのは、国立競技場でオリンピックが無観客になりホフンティアが減って余った手つかずのパンや弁当が大量に捨てられる民放の映像を目にしたことだ。その後、組織委員会は四千食と発表した。

困窮家庭を思い食品ロスの問題を考えると全く理解に苦しむ。フードバンクなど今後の課題である。支援をされている方々はどんな気持ちであろうかと思う。日本だけでなく世界にはもっと食料に困っている人々がいる。戦争や紛争地域や難民の人々はどんな食生活をされているのだろう。国連WFPの報告にはそれらが生々しく取り上げられている。一例として三千円の寄付で栄養不良の子どもたちに百二十食分の栄養強化ペーストを届けることができる。今回も少額ながらひどい格差のある社会の人の支援に寄付をしようと思ってる。